

R. I. District2610, ROTARY CLUB OB UOZU

魚津ロータリークラブ会報誌

2011-2012年度 RI会長 カルヤン・バネルジー
2011-2012年度 魚津RC会長 寺崎 明博



2012-3-16

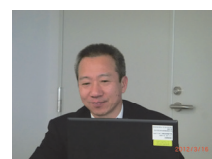
第2817回 例会報告

(1) 点鐘

(2) ロータリーソング 「我等の生業」

(3) ゲスト並びにビジター紹介

- ・ゲスト 魚津工業高等学校 松井裕敏校長
- ・ 魚津工業高等学校 岩田先生



(4) 誕生日祝い



3月16日 関口 孝子さん

今日は私の誕生日です。誕生日ありがとうございます。小学校の卒業式に出席して、感動致しました。この時期は卒業や入学があり、人々の別れと出逢いの感動が肌で感じる節目の候です。私の好きな「人生はリズム」、正にこの時期に一層感じられます。ロータリーの皆さんに会えることを感謝しております。

(5) 会長挨拶 寺崎 明博会長



みなさん、こんにちは！本日は魚津工業高校の松井校長先生、岩田先生にはお忙しいところ、私達のためにお出でいただきまして誠にありがとうございます。関口孝子さん誕生日おめでとうございます。今日3月16日ピタリ賞です。

長かった冬空も近頃では良い天気が続き雪も大変少なくなりました。しかし私の家の前ではまだ1メートルあります。だいたい2月の末から3月にかけて雨が降ったり日照りが続きますと雪が縮まり今朝等は雪の上を歩かれるほど固くなっております。今日のような特には兎を捕るのに大変よいのです。昔、小学5年生の頃スキーに乗って学校から帰るとすぐ2番線の針金とペンチを持って兎の罠をかけた山へ行ったのを思い出しました。昔は兎が沢山いましたから兎の足跡をみたり、その餌場を見ながら10カ所程罠を仕掛けます。冬ですから毎日良い天気が続きませんから、雪の晴れ間をみて、学校から帰ると兎の罠を見て回ります。1週間に1羽位は捕れたような気がします。ある時は罠にかかったばかりで生きていることもありました。その時は大変で暴れますから家へ抱きかかえて持ってきたこともありました。しかし兎を捕るということは口で言うほど簡単なものではありません。やはり兎の通る道、餌のある所、罠の高さや大きさ、針金を縛る木の枝があるかないか、いろいろ研究しそれを試して初めて兎がかかるようになります。それまでいろいろな苦労がある訳で簡単なものではありません。今工業高校で生徒達が物作りに一生懸命のようですが、これも一つの目的に向かって試行錯誤しながら完成に向かってガンバッテおられることと思います。物の例えの大小はありますが新しいものの発見と兎の罠は違うかもしれませんが、いずれにしてもそれなりの苦労を重ねて成功があるものと思います。

(6) 幹事報告 平崎幹事代行

- ・ソーラー街灯の寄付のお願い
- ・つくし学園より卒園式への招待
- ・ボーイスカウト山口大会支援のお願い
- ・商工会議所青年部より定時総会の案内



(7) 出席報告

- ・本日の出席25名、出席率71.42%、欠席者10名、メイクアップはなしです。
- ・2815回のメイクアップはなしで修正出席率は80.00%で変わらずです。

(8) ニコボックスの紹介

- ・野澤 良成さんより地区インターアクトクラブの海外研修（オーストラリア）に3月21日出発します。魚津工業高校より2名参加します。団長として頑張ってきます。

(9) 卓話 魚津工業高校 松井 裕敏 校長

「活力ある生徒の育成を目指して、地域に根ざした工業高校の取り組み」



今日のご招待を頂きありがとうございました。平素のご支援ありがとうございます。

- ・本校の内容について
- ・教育目標について
- ・特色について

- ・就職について等々について、別紙のとおり詳しく説明されました。

あとがき

- ・魚津工業高校について松井校長先生が熱く説明をされました。県東部の唯一の工業系技術専門学校として立派に生徒を育成・教育されている生の声（現場の姿）を耳にしました。今後共より一層ご努力され、立派な人物を輩出されますようご祈念いたします。
- ・桜の蕾も大きく膨らみ、待ちに待った躍動の春を迎えましたが皆さんいかがですか。友道の梨は4月12日ごろの開花に備えて枝の剪定と枝伏せ（結引）が精力的に行われています。昨今の気候が例年に比べて寒いので開花が遅れるのではと心配しながら作業をされていますが、自然は正直なものです。それこそ万物は正月に一年の計画を作り終えたようです。美しい花をさかせ、美味しい実をつくり、立派な種を作り、子孫繁栄を願って、沈黙胎動しています。自然からも学びたいものです。